鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）発行

伊集院保健所感染症情報

2026年第43週（令和8年10月19日～令和8年10月25日）

【お問い合わせ先】　〒899-2501　鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1　鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）
TEL（099）273-2332 ／ FAX　（099）272-5674 ／　E-mail　kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp
鹿児島地域振興局　URL　http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html

定点把握感染症

管内流行発生注意報発令中：インフルエンザ

定点医療機関【ARI２（インフルエンザ・COVID）、小児科１、基幹定点１】

疾　患　名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第40週	第41週	第42週	第43週	先週からの増減	第42週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	39.00	83.00	100.50	99.50	↘	51.33	↘
インフルエンザ	30	10	10	11.50	15.50	12.00	20.50	↗	9.47	↘
COVID-19	–	–	–	0.50	0.50	0.50	0.00	↘	0.26	↘
咽頭結膜熱	3	1	–	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.58	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	–	6.00	7.00	5.00	4.00	↘	1.84	↘
感染性胃腸炎	20	12	–	3.00	1.00	5.00	7.00	↗	4.19	↘
水痘	2	1	1	0.00	**2.00**	0.00	0.00	→	0.03	↘
手足口病	5	2	–	**7.00**	**2.00**	**3.00**	0.00	↘	0.35	↘
伝染性紅斑	2	1	–	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
突発性発しん	–	–	–	0.00	0.00	2.00	0.00	↘	0.35	↘
ヘルパンギーナ	6	2	–	**4.00**	**5.00**	**5.00**	1.00	↘	1.00	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↗
ＲＳウイルス感染症	–	–	–	8.00	3.00	1.00	6.00	↗	0.74	↘

※警報域　：太文字で赤色の塗りつぶし、　注意報域　：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC　　インフルエンザの予防接種を受けましょう。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状もみられます。また、お子様では、まれに急性脳症を起こしたり、高齢の方や免疫力の低下している方では、二次性の肺炎を引き起こし重症になることがあります。季節性インフルエンザは流行性があり、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が拡がります。

（ワクチンの効果）

現行のインフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかかることがないというものではありません。しかし、インフルエンザの発病を予防したり、発病後の重症化や死亡を防ぐことに関しては、一定の効果があるとされています。

（定期接種の対象者）

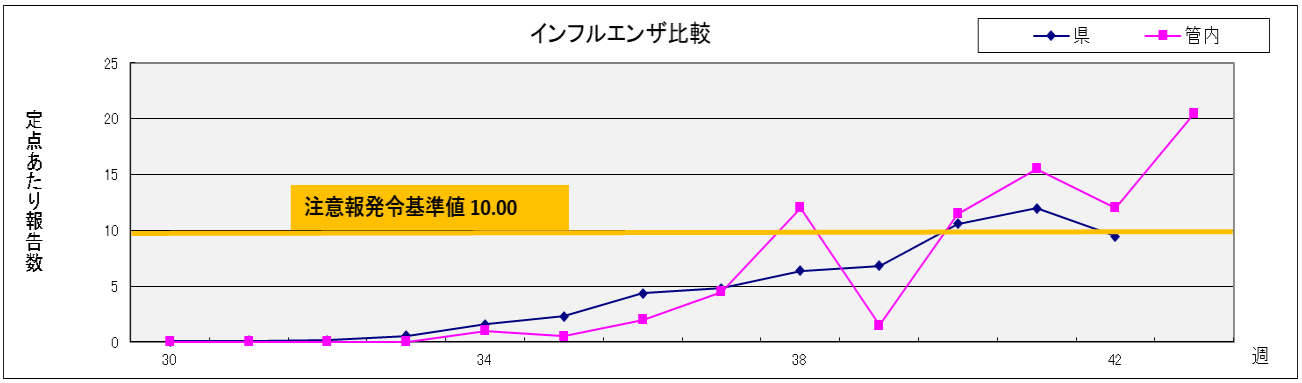
・65 歳以上
・60～64 歳で対象となる方（※）
※心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方。

（接種費用）

・定期接種費用（自己負担金額）は各市村に問い合わせてください。また、定期接種以外の方は、各医療機関に確認してください。

注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生注意報発令中）



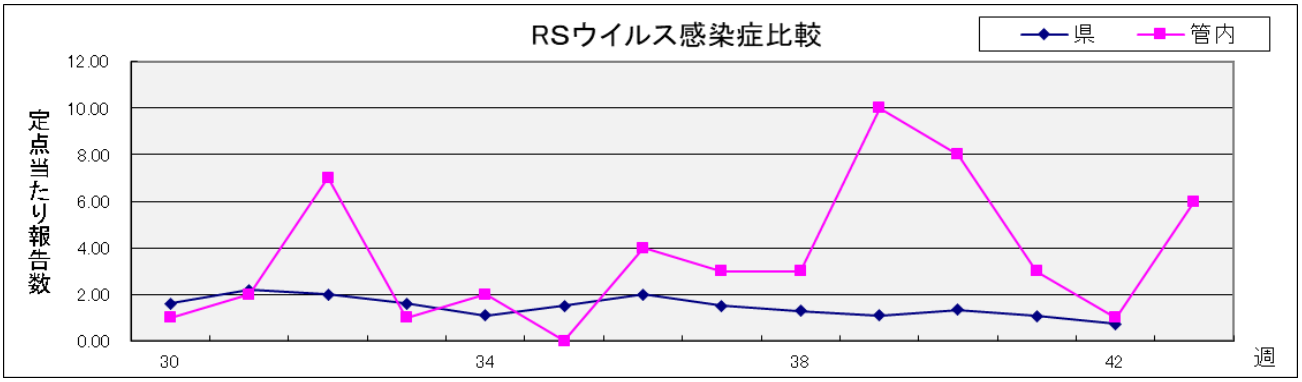
第 43 週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、41 人（定点当たり 20.50）でした。

年齢別では、10～14 歳（16 人）、9 歳（6 人）、80 歳以上（5 人）、7 歳・8 歳（各 3 人）、1 歳・60～69 歳（各 2 人）、3 歳・6 歳・15～19 歳・70～79 歳（各 1 人）でした。

インフルエンザは、発症すると 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防方法としては、普段から流水と石けんによる手洗いや、ワクチン接種をすること、咳が出る場合は、「咳エチケット」をすること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

・ RS ウイルス感染症



第 43 週の伊集院保健所管内における RS ウイルス感染症の報告数は、6 人でした。年齢別では、1 歳（5 人）、6 ヶ月～11 ヶ月が（1 人）でした。

RS ウイルス感染症は、急性の呼吸器感染症で、年齢を問わず何度も感染を繰り返しますが、初回感染時には、より重症化しやすいといわれており、特に生後 6 ヶ月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。

潜伏期は２～８日とされ、発熱、鼻汁、咳などの上気道炎症状が数日続きその後、場合によっては、気管支炎や肺炎などの下気道症状が出てきます。感染経路は、感染した人の咳やくしゃみなどによる飛まつ感染と、ウイルスの付着した手指や物などを介した接触感染といわれています。

予防対策は、鼻汁、咳などの呼吸器症状がある場合はマスクが着用できる年齢の子どもや大人はマスクを使用する、手洗いや手指衛生といった基本的な対策の徹底を行うことが大切です。

また、60 歳以上を対象としたワクチンと、生まれてくる子どもの予防を目的とした妊婦さんを対象としたワクチンもあります。

○学校における感染症による出席停止の状況 10/19～10/25（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが 57 人（型不明 48 人、A 型 9 人）、流行性耳下線炎 1 人、流行性角結膜炎 1 人、溶連菌感染症 2 人、マイコプラズマ感染症 1 人が報告されています。

疾患名／自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	流行性角結膜炎	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症
日置市	13	2	1	0	2	0
いちき串木野市	35	7	0	1	0	1
三島村	0	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0	0
計	48	9	1	1	2	1